

ミスチル ばがぼんど



ミスチル20周年記念ツアー「POPSAURUS (ポップザウルス) 2012」へかずくんと行ってきました。ポップな恐竜となって20年という月日を「強く早く駆け抜けるほど向かい風もきつくなるんだな」と感じつつ走り続け、今「バランスを崩しながら」、でも「ここにいる」と私たちに歌ってくれます。

MR.CHILDREN —10th— POPSAURUS 2012

5月23日水曜日。若きチル仲間と東京ドームへ。

I嬢(タオルで隠れているけど)が広げているのは、1995年横浜スタジアムで行われた「空(Ku:)」ツアーのときのグッズ。超レアもの。ずっとファンだった証。 →



かずくんの買ったツアーTで顔を隠してパチリ。 →
若者の中に混じるって大変(汗)

POP
SAU
RUS



← 東京ドームで写真を撮っているかずくん。
ホントおやせさんだ。こちらは5月25日金曜日。



POP
SAU
RUS



東京ドームは人で溢れ、会場は熱気という言葉では収まりきれない熱気で渦巻き、わたしたちはステージの中のただひとりに視線を集中させる。20年の長い間、こうやってかれらは走り続けてきた。歌うただけで歌歌いたくないときだってそりゃあったよね。紆余曲折があった中で人気を保ち続けてきたバンドの、その紆余曲折にたまらなく惹かれている。悩んだり苦しんだりしながら紡いだ言葉は真実の味がする。それが味わえる限り30年目もきっとファンでいるんだと思う。

無くしたものと手にしたものを秤にかければ
きっと圧倒的に前者に傾くと知ってる
でも明日はくるさ 寒い夜にだって終わりは来るさ
太陽は昇り どんな人の上にもまた新しい 暖かな光